

手を握らずに親と子



令和5年9月発行 登別市教育委員会・学校教育グループ「子育てコラム」 No. 25

大人は子どもの「助けて」を受け止められていますか？

私は、精神科病院のソーシャルワーカーとして勤務しています。子どもとの関わりは、教育現場などで働かれている方よりも断然に少ないと思いますが、病院での出来事を子育ての場面に当てはめて考えてみたいと思います。

ソーシャルワーカーの仕事って？

相談者の抱える生活問題や社会問題を解決するための援助、社会参加に向けた支援活動を通して、その人らしいライフスタイルの獲得を目指し、日々関わっています。

ソーシャルワーカーは、「相談員」としての役割を持ち、治療や生活支援を目的とした様々な相談に対応しています。本人以外にも家族などから「本人に病気の認識がなく、受診を拒否している」という相談も多く寄せられます。



SOSを出さない人に対してできること

人によっては、「SOSを出さない」ということが、強みや権利であることだってありえます。病院に行かなくても生活に支障がなく、他人に迷惑をかけずに暮らすことができているのであれば、それはそれで問題ありません。

でも、我々のところに相談が入ったということは、何らかの生活への支障があり、病院の受診や治療・支援の必要性があるにも関わらず、どこにも繋がっていないと判断されていることがほとんどです。



私たちは、相談が入った際には、丁寧な情報収集や課題の整理、その情報からみえるその方のあるべき姿やあるべき暮らし方を想定して関わっていきます。そのプロセスを「アセスメント」といいます。

ご本人の人柄、病気や障がいの有無、仕事、最終学歴、家族関係、暮らしぶりなどをご家族やご本人から丁寧に聴き取ります。そうして、ようやくその方の受診の必要性などが把握でき、「辛いから助けて」が言えない状況であったのかどうかがわかります。この「アセスメント」の作業によって、本人のSOSを汲み取り、生活支援へと繋がっていきます。

子育ての場面に置き換えると・・・

子どもにも個性や特徴があります。世間的に良いとされているしつけや指導が、一人ひとりにとって良い影響があるかどうかは、その子の個性や特徴によって異なります。時に、大人が感じた「良いこと」を押し付けてしまい、かえって子どもに悪影響になる場面もあると考えます。

例えば

子どもから「今日は学校を休みたい」と言われたとき、親としてどのように対応することが望ましいでしょうか？

「授業についていけなくなったら困る」「このまま学校に行けなくなったらどうしよう」「今日は仕事休めない」など考え、「体調が悪くないなら行きなさい」と伝えていませんか？

それが悪いと言いたいわけではありません。私が考える親としての望ましい対応は、「少し時間を作って子どもと対話すること」です。



それは、「今日は学校を休みたい」というのが子どもからの SOS かもしれないからです。子どもの SOS は、「助けて欲しい」という直接的な表現だけではないでしょう。子どもと向き合って対話できると、より具体的なことが聞けるはずで、親としても状況が理解できて、対応方法が思いつくのではないかと思います。

対話のポイント

どうして学校に行きたくないの？	いつからそう思っていたの？
いじめなどがあったの？	部活で嫌なことがあったの？
〇〇ちゃんとけんかした？	担任の先生とはうまくいっている？
些細なことがきっかけなのか、それともまったく別なことが理由なのか	
本人にとって大きな出来事なのか、小さな出来事なのか	

これは補足ですが、最近、「学校に行くことが全てではない」「今の学校に行かないことも、その子の選択肢としてあっていい。その子の個性を尊重しよう」「学校ではない居場所作りも大切だ」「子どもの多様性の尊重」という考え方を、新聞等の報道や医療・福祉関連の雑誌の記事で見聞きする機会が増えているように思います。



私にも 10 代前半の娘が 2 人いますが、親というのは、子どものことを何でもわかっている気になってしまうものですね。子どもは子どもの生活や楽しみ、悩みがあるものなんだと、いまさらそんな当たり前のことを実感するようになりました。なるべく少ない時間でもいいので子どもに話しかけるように意識しています。嫌われないようにということも意識して・・・。

バイステックの7原則

私たちソーシャルワーカーが、相手とより良い関係を築くための考え方のひとつです。子どものことを考える際のヒントにもなる気がしますので、紹介します。

個別化	意図的な感情表出	統制された情緒的関与	受容	非審判的態度	自己決定	秘密保持
相手を個人として捉える	相手の感情表現に意図的に関わる	自分の感情をコントロールして関わる	相手のあるがままを受け止める	相手を非難しない	相手の自己決定を促し尊重する	相手から得られた秘密は守る